

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使用時間 (23℃)	
1.事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工して下さい。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないで下さい。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認して下さい。								
2.素地調整	①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生して下さい。								
3.下塗り	クリヤベースハイパー [水性タイプ]	主 剤 硬化剤	14kg 1kg	0.10～0.15 (kg/m ² /回)	100～150 (m ² /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	上塗り水性 4時間以上 7日以内	6時間以内
	清水	0～6%	上塗り油性 16時間以上 7日以内						
4.上塗り	ウルトラクリヤー、クリスタルコート、タテイル美館、タテイル美館アクア、タテイルα美館(弾性)、他 ※各製品の仕様書に準じて上塗りを2回施工して下さい。					2回			

●クリヤベースハイパー [水性タイプ]

(2液水性形意匠サイディング用高付着プライマー)

■荷姿

15kgセット 主 剤: 14kg
硬化剤: 1kg

■色

・透明

■適用基材

・窯業系サイディング全般 ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング

注意事項

- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は初期攪拌では硬化剤がなじみにくいため、調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌して下さい。
また、調合後は30分程度静置させて下さい。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となる場合があります。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]の塗布後、各種上塗材(クリヤー製品)は必ず2回塗りしてください(全3工程)。
- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けて下さい。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]を上塗材として使用することは避けて下さい。
- ・上塗材に艶調整品を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意して下さい。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・混合後の可使用時間を厳守し、可使用時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用下さい。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。
- ・弱溶剤形の上塗材は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しラブラブルの原因となります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管して下さい。また施錠し、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用して下さい。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹼で充分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息して下さい。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
1.事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工して下さい。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないで下さい。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認して下さい。							
2.素地調整	①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生して下さい。							
3.下塗り	クリヤベースハイパー [油性タイプ]	主剤 14.0kg 硬化剤 4.0kg	0.12～0.14 (kg/m ² /回)	128～150 (m ² /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	4時間以上 7日以内	4時間以内
4.上塗り	グラスエージクリスタルコート、タテイル美術館、タテイル美術館アクア、ウルトラクリヤー、タテイルα美術館プレミアムエディション、タテイルα美術館弾性プレミアムエディション、他 ※各製品の仕様書に準じて施工して下さい。					1回		

●クリヤベースハイパー [油性タイプ]

(2液弱溶剤形意匠サイディング用高付着プライマー)

■荷姿

18kgセット
主剤:14.0kg
硬化剤: 4.0kg

■適用基材

・光触媒サイディング ・無機系サイディング
・焼付金属サイディング ・意匠サイディング全般



注意事項

- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けて下さい。
- ・クリヤベースハイパー[油性タイプ]を上塗材として使用することは避けて下さい。
- ・上塗材に艶調整剤を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意して下さい。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・製品は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用下さい。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。
- ・弱溶剤形製品は取扱の際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管して下さい。また施錠し、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用して下さい。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹼で十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息して下さい。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認下さい。